

特別展

The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori

手塚治虫×石ノ森章太郎

マンガのちから



©手塚プロダクション ©石森プロ

展覧会趣旨

夢、希望、勇気… “マンガのちから”は、私たちにたくさんの感動を与えてくれます。いまや世界的な文化として成長したマンガ。その地位が確立したのは、マンガの可能性を大きく広げた“マンガの神様”手塚治虫と、それに呼応しマンガを育て上げていった“マンガの王様”石ノ森章太郎の存在があったからと言えるでしょう。その親しみやすいイメージとユニークなキャラクター、普遍的なテーマを含んだ物語などに特徴づけられる彼らの作品は、今もなお人々を魅了し続けています。

本展では、この二人の歩み、作品に込められたメッセージを、「鉄腕アトム」、「ブラック・ジャック」や「サイボーグ009」、「仮面ライダー」といった代表作の原画や様々な映像などで振り返りながら、“マンガのちから”の源流を探ります。二人のマンガから大きな影響を受けて育った、現在各界で活躍する著名人たちによるオマージュ作品も紹介します。世界を変えてきた“マンガのちから”を感じる、またとない機会となるでしょう。

《展示構成》

【プロローグ ここから はじまり】

戦後の子どもたちを元気づけ、いまや日本発の世界的な文化として成長したマンガ。本展のプロローグでは、現在のマンガの地位の確立に大きく貢献した手塚治虫と、それに呼応しマンガを育て上げていった石ノ森章太郎の、それぞれ二人がつくったマンガの“始まり”と、世界的な文化として成長したマンガの“今”を象徴的に展示します。

【第1部 二人の出会い マンガ誕生】

1952年、手塚と石ノ森は、雑誌「漫画少年」で運命的な出会いをします。第1部では、二人の青年期に描かれた作品や、当時のエピソードなどを通じて、手塚治虫の生んだストーリーマンガと、それに影響を受けてマンガの道を志した石ノ森章太郎の“マンガ黎明期”を展覧します。

【第2部 爆発するマンガ 時代への挑戦】

激動と発展の昭和から、平成へ。めまぐるしい変化に柔軟に適合しながら、大衆文化“マンガ”も進展しました。第2部では、マンガ雑誌が月刊誌から週刊誌へ、さらにはアニメーションやメディアミックスなど、時代の変化に表現を即応させ、マンガを進化させていった二人の足跡を、当時の記録映像や関係資料とともに立体的に展覧します。

【第3部 “ちから”の本質対決】

二人がマンガで表現したテーマは、「人間」、「生命」、「未来」、「哲学」など、現代でも色あせない人類にとって普遍的なものでした。マンガは、“こどもの読み物”を超えた、文化の担い手として足りうる表現手段であったのです。第3部では、手塚と石ノ森が、それらのさまざまなテーマをどのように描いたかを両者の対比の中で見せる展示とします。

【第4部 未来へ生き続ける“ちから” 現代作家によるオマージュ作品集】

著名作家による本展のためのオリジナル作品など、国内外の現代作家が制作した二人へのオマージュ作品を展示します。現在も脈々と受け継がれ、さらに未来へつながっていく手塚と石ノ森のマンガの遺伝子を体感してください。

①初公開！ 手塚治虫×石ノ森章太郎 未使用・未発表原稿

“マンガの神様”手塚治虫の初期の名作、「メトロポリス」の今まで公開されたことのなかった原稿や、新たに発見されたデビュー前の未発表マンガ原稿がこの展覧会で初めて公開されます！また、“マンガの王様”石ノ森章太郎の初公開のアイデアノートなどから、巨匠の知られざる構想の秘密が明らかに！

②大集合！ 手塚治虫×石ノ森章太郎 キャラクターが一堂に

現代のマンガやアニメ、戦隊特撮作品の原型ともなる二人の代表的キャラクターが勢ぞろい。手塚治虫の代表作「鉄腕アトム」、「ブラック・ジャック」、「リボンの騎士」や、石ノ森章太郎の代表作である「サイボーグ009」、「仮面ライダー」や「おかしなあの子 さるとびエッチちゃん」などなど、二人が生み出したキャラクターの数々と出会えます。

③大放し！ 手塚治虫×石ノ森章太郎 生原稿展示

二人の直筆のマンガ生原稿が惜しみなく展示されます。作家の息遣い、気迫、想いを生原稿から感じてください！生原稿からは、当時のマンガ家たちが新たな表現を模索し生み出したテクニックや、マンガ表現のために日夜努力した苦労のあとも感じることができます。

④再現！ 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガ創作の世界！

本展では、戦後の日本を代表するマンガ家が集い、伝説的逸話が数多く生まれた、東京都豊島区にあったマンガ家アパートのトキワ荘を、なんと展覧会場内に再現します！昭和の高度経済成長の中、当時のマンガ家たちが額に汗し、互いに競い合いながらも楽しく日本のマンガを生み出していった青春の現場を体感できます。

⑤もりだくさん！ 手塚治虫×石ノ森章太郎 映像展示

会場では、マンガが生まれた時代背景を写し出す数多くのNHK記録映像や、二人の代表的なアニメーション、TVシリーズの映像がふんだんに展示されます。

⑥あの著名人が！ 手塚治虫×石ノ森章太郎 オマージュ作品

国内外のマンガ家、イラストレーター、映像監督、ミュージシャン、タレント、現代アーティスト… 二人のマンガから大きな影響を受けて育った、現在各界で活躍する著名人たちによる、二人へのオマージュ作品を紹介します。

作家紹介

手塚治虫

本名:手塚治。

1928年11月3日、大阪府豊中市生まれ。
大阪大学医学専門部卒業。医学博士。
1946年『マアチャンの日記帳』でデビュー。1947年『新寶島』が大ヒットする。
以来、日本のストーリーマンガの確立に尽くす。また、アニメーションの世界でも大きな業績を残す。
代表作に『鉄腕アトム』をはじめ『リボンの騎士』『火の鳥』『ブラック・ジャック』『三つ目がとおる』などがある。1989年他界。

手塚治虫 作品リスト

私家版『ロスト・ワールド』(1940頃)/『マアチャンの日記帳』(1946)
『新寶島』(1947)/『ジャングル大帝』(1950)/『鉄腕アトム』(1952)
『リボンの騎士』(1953)/『罪と罰』(1953)/『黄金のトランク』(1957)
『パンパイヤ』(1966)/ COM版『火の鳥』(1967)/『どろろ』(1967)
『アポロの歌』(1970)/『人間昆虫記』(1970)/『トキワ荘物語』(1970)
『フースケ風雲録』(1970)/『百物語』(1971)/『奇子』(1972)
『ブラック・ジャック』(1973)/『三つ目がとおる』(1974)/『アドルフに告ぐ』(1983)



石ノ森章太郎

本名:小野寺章太郎。

1938年1月25日、宮城県登米郡(現・登米市)生まれ。
1954年、高校在学中に『二級天使』でデビュー。高校卒業と同時に上京し、漫画家生活に入る。
特撮実写作品『仮面ライダー』の原作者としても知られ、映像とマンガ連載を並行して行うメディアミックスの分野を開拓した。
代表作に『サイボーグ009』『仮面ライダー』『佐武と市捕物控』『マンガ日本の歴史』などがある。1998年他界。

石ノ森章太郎 作品リスト

肉筆回覧誌『墨汁一滴』(1953)/『二級天使』(1954)
『火の鳥風太郎』(1957)/『快傑ハリマオ』(1960)/『龍神沼』(1961)
『おかしなあの子 さるとびエッチちゃん』(1964)/『サイボーグ009』(1964)
『マンガ家入門』(1965)/『佐武と市捕物控』(1966)
『章太郎のファンタジーワールド ジュン』(1967)/『幻魔大戦』(1967)
『トキワ荘物語』(1970)/『仮面ライダー』(1971)
『人造人間キカイダー』(1972)/『がんばれロボコン』(1974)
『秘密戦隊ゴレンジャー』(1975)/『HOTEL』(1984)
『マンガ日本経済入門』(1986)/『仮面ライダーBlack』(1987)
『マンガ日本の歴史』(1989)



©石森プロ

展覧会情報

展覧会名	特別展「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」 The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori
会期	2013年6月29日(土)～9月8日(日) (62日間)
休館日	月曜日(ただし7月15日は開館)、7月16日
開館時間	10:00～18:00(入場は閉館の30分前まで)
会場	東京都現代美術館 企画展示室B2F
観覧料	一般1,200円(960円)/ 大学生・65歳以上900円(720円) 中高生700円(560円)/ 小学生以下無料*保護者の同伴が必要です。 ※()内は20名様以上の団体料金 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳を お持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)は無料です。 ※本展チケットで「MOTコレクション」(常設展)もご覧いただけます。
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、NHK、 NHKプロモーション
後援	外務省、経済産業省
特別協力	手塚プロダクション、石森プロ
機材協力	NECディスプレイソリューションズ
同時開催	「フランス・アリス展 GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編」 「オバケとパンツとお星さま」 「MOTコレクション」 すべて会期は6月29日(土)～9月8日(日)です。
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) 03-5245-4111(代表) http://www.mot-art-museum.jp

同時開催の展覧会とのおトクなセット券もございます！

「オバケとパンツとお星さま」とのセット券：

☞ 一般1,500円/ 大学生・65歳以上1,200円/ 中高生900円

「オバケとパンツとお星さま」「フランス・アリス展 ジブラルタル海峡編」との3展セット券

☞ 一般2,000円/ 大学生・65歳以上1,500円/ 中高生1,000円

巡回館情報	広島県立歴史博物館	2013年11月15日(金)～2014年1月5日(日)
	大阪歴史博物館	2014年1月15日(水)～3月10日(月)
	山梨県立博物館	2014年3月21日(金・祝)～5月19日(月)
	宮城県美術館	2014年5月31日(土)～7月27日(日)

広報お問合せ 東京都現代美術館 広報班
野口 玲子 r-noguchi@mot-art.jp 小原 久実子 k-ohara@mot-art.jp
TEL 03-5245-1134(広報直通) FAX 03-5245-1141

広報用画像

本展広報用画像として13点をご用意しております。ご希望の方はお手数ですが別紙にご記入の上、メールまたはFAXでお申込みください。

【掲載に際してのお願い】

画像掲載にあたりまして下記の点にご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

※作品のトリミング、文字載せ等はお控えください。

※作品タイトルやクレジット等のキャプションを表記してください。

※展覧会情報等の確認のため掲載前にゲラ等をお送りください。

※①・②のコラボ画像は1点での使用OKです。

※③～⑩までの画像をご希望の場合は、③と④、⑤と⑥、⑦と⑧、⑨と⑩を必ず2点セットで掲載してください。

※⑪～⑬の画像は、①または②の画像が掲載される場合に限り提供が可能です。

※手塚治虫および手塚プロダクションの「塚」は、旧漢字表記してください。

※石ノ森章太郎の「ノ」はカタカナ半角にし、55%くらいのQ数にしてください。また、「ノ」は横書きは下揃え、縦書きはセンター揃えにしてください。

■1点での掲載OKのもの



広報用画像①

©手塚プロダクション ©石森プロ



広報用画像②

©手塚プロダクション ©石森プロ

■2点セットで掲載していただきたいもの

※③～⑩までの画像をご希望の場合は、③と④、⑤と⑥、⑦と⑧、⑨と⑩を必ず2点セットで掲載してください。



③手塚治虫



④石/森章太郎 ©石森プロ



⑤手塚治虫《鉄腕アトム》
©手塚プロダクション



⑥石/森章太郎
《サイボーグ 009》
©石森プロ



⑦手塚治虫《リボンの騎士》
©手塚プロダクション



⑧石/森章太郎
《さるとびエッチちゃん》 ©石森プロ



⑨手塚治虫《ブラック・ジャック》
©手塚プロダクション



⑩石/森章太郎《佐武と市捕物控》
©石森プロ

■その他

※前ページの広報用画像①または②掲載時に限り、下記の画像の掲載も可能です。



⑪アトム&島村ジョー(009)
©手塚プロダクション ©石森プロ



⑫お茶の水博士×ギルモア博士
©手塚プロダクション ©石森プロ



⑬サファイア×フランソワーズ(003)
©手塚プロダクション ©石森プロ

本展覧会広報用素材として、13点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はEメールにてお申込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

※作品のトリミング、文字載せ等はお控えください。

※作品タイトルやクレジット等のキャプションを表記してください。

※展覧会情報等の確認のため掲載前にゲラ等をお送りください。

※①②のコラボ画像は1点での使用OKです。

※③～⑩までの画像をご希望の場合は、③と④、⑤と⑥、⑦と⑧、⑨と⑩を必ず2点セットで掲載してください。

※⑪～⑬の画像は、①または②の画像が掲載される場合に限り提供が可能です。

※手塚治虫および手塚プロダクションの「塚」は、旧漢字表記してください。

※石ノ森章太郎の「ノ」はカタカナ半角にし、55%くらいのQ数にしてください。また、「ノ」は横書きは下揃え、

縦書きはセンター揃えにしてください。

媒体名： 『 _____ 』

○印をおつけください

種 別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日： _____

御社名： _____

ご担当者名： _____

Eメールアドレス： _____

@ _____

(行 ー)

ご住所： _____

お電話番号： _____

FAX: _____

ご希望の図版番号に ✓ をおつけください。

① ○手塚プロダクション ○石森プロ

⑦ 手塚治虫《リボンの騎士》
○手塚プロダクション

② ○手塚プロダクション ○石森プロ

⑧ 石ノ森章太郎《さるとびエッチちゃん》
○石森プロ

③ 手塚治虫

⑨ 手塚治虫《ブラック・ジャック》
○手塚プロダクション

④ 石ノ森章太郎 ○石森プロ

⑩ 石ノ森章太郎《佐武と市捕物控》
○石森プロ

⑤ 手塚治虫《鉄腕アトム》
○手塚プロダクション

⑪ アトム&島村ジョー(009)
○手塚プロダクション ○石森プロ

⑥ 石ノ森章太郎《サイボーグ 009》
○石森プロ

⑫ お茶の水博士×ギルモア博士
○手塚プロダクション ○石森プロ

⑬ サファイア×フランソワーズ(003)
○手塚プロダクション ○石森プロ

プレゼント用招待券をご希望の場合は✓をおつけください。 10名様 / 20名様

広報お問い合わせ先： 東京都現代美術館 事業推進課企画係 広報班

野口 r-noguchi@mot-art.jp 小原 k-ohara@mot-art.jp

東京都江東区三好4-1-1 TEL.03-5245-1134(直通) / FAX.03-5245-1141